

# Advanced 南薩 - 日々前進 -

夏休みは、児童生徒にとっては自己を鍛錬する期間であり、保護者にとっては我が子の成長を扶ける営みをする期間です。

自己を鍛錬する期間の夏休みは、自分を律するのは自分以外にない日々を過ごすということです。私たちは、何気なく過ごしていると、かなりの時間があっても、たいした仕事・勉強はできません。しかし、計画的に、段取りよくものを処理していくと、短い時間でも結構かなりの仕事・勉強は消化できます。一日は二十四時間あり、全ての人が共有しています。この限られた時間を、どう合理的に利用するかによって、仕事・勉強の量が違ってきます。

## 一日わずか五分で三時間三十分

日本人は、一般的に勤勉でよく働くけれども、計画的に行動するのは苦手と言われています。大切なことは、自分なりの生活設計をして、計画的な時間割に沿って生活することです。そうすると、五分、十分という細切れ時間が、実にたくさんあることに驚きます。それまで、無駄にしていた五分でも、夏休みの四十二日間で何と三時間三十分になります。一日わずか五分間で何とできないかと考えていたら、本当に何もできません。しかし、その考えは大さな誤りです。五分間、十分間をうまく利用できるかどうかは、利用しようとするあなた自身に意欲があるかどうかです。毎日続けていると、短い時間を最大限に生かせる能力が身につけてきます。

所長 金久 三男

## 充実した夏季休業を過ごすために

### 夏季休業中の学習の充実

- 学習として課す課題は、内容や量などできる限り一人一人の状況に応じたものにする。
- 1学期の学習を振り返らせ、自分自身で学習内容を選択させるなど、自主的な取組となるよう工夫する。
- 事前に全体の見通しをもたせ、困難なところがあれば解決への手立てまで一緒に考える。(自由研究の事前指導など)
- 学習時間の計画を立てさせ、まず最初の3日間をリズムよく過ごさせる。
- 学習の状況を把握し、2学期の学校生活にスムーズに適應できるようにする。



### 【生徒指導】

夏季休業中は、家庭や地域で過ごす時間が多くなり、児童生徒にとっては自律的で主体的な態度づくりに適切な機会です。しかし、日々の生活が不規則となり、生活習慣の乱れや問題行動等を起こしやすい時期でもあります。夏季休業の意義を児童生徒に十分理解させ、一人一人が充実した生活を送ることができるよう、次の事項に留意して指導をお願いします。

- ☆ 家出・飲酒・喫煙・薬物乱用・火遊び等の問題行動を踏まえた命の大切さを強調した指導
- ☆ スマートフォン・携帯電話・ネットに接続できるゲーム機等の利用における家庭内ルールの取り決め、フィルタリングの設定等の指導
- ☆ 不登校、いじめ等の生徒指導上の課題を抱えている児童生徒への夏季休業中を利用した積極的な生徒指導

### 【安全指導】 悲しい事故から子どもを守る！

園児児童生徒の安全確保(5月18日付け通知文から)

- ◇ 水の危険性・増水している箇所等の危険性の具体的指導
- 【参考資料】
- ・ 鹿児島地方気象台「局地的大雨から児童を守るために」
- ・ 気象庁「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」
- ◇ 危険を予測した安全な行動への意識向上
- ◇ 実効性のある訓練(自然災害への対応・交通事故防止・不審者対策・熱中症対策)
- ◇ 危険予知能力・危険回避能力・事故対処能力の育成
- ◇ 通学路・校区内の点検や巡視(児童生徒の目線で)
- ◇ 警察署・消防署などの関係機関等と連携した点検

## なくなる体罰

【こんな考えは・・・】

- 時と場合によっては、体罰もやむを得ない。
- 保護者から厳しい指導の要望がある。

体罰は学校教育法で禁止されている行為です

《それ以前に》

体罰は人権侵害  
教育ではありません

自分の感情の発露



もう一度考えてみよう  
子どもたちのこと  
家族のこと  
教職員としての誇り  
築いてきた信頼関係

思い出ししてみよう  
教壇に立つのを  
夢見た日のこと  
初めての卒業式



### 地域にある文化財の活用を！

学校では、子どもたちが生まれ育った地域に愛着をもつとともに、地域を誇りに思う教育の推進に、様々な地域素材を活用した教育活動が展開されていることと思います。それらの中から、とりわけ地域にある文化財を活用してみませんか。

南薩地区には、国・県・市指定の文化財が多数あります。しかし、自分たちの身近にどんな文化財があるか知らない子どもたちが多いのではないのでしょうか。そこで、先生方にフィールドワーク等(夏季休業中の研修等に位置付けるなど)を通して、地域の文化財を知っていただきたいと思えます。そして、総合的な学習の時間や教科等で教材化できるものを洗い出し、教育課程に位置付けたり、長期休業中の課題(自由研究)としたりして取り組んでほしいと思えます。

- (活動例として)
- ・ 学校支援ボランティア等を活用して、地域の文化財を巡回する。
  - ・ 文化財一覧(マップ)等を作成する。
  - ・ 学校行事や地域行事等で発表する。 など

## 南薩地区子ども会大会、育成者・指導者研修会



6月21日(日)、南さつま市笠沙の笠沙小学校及び自然体験センターで地区子ども会大会、育成者・指導者研修会が開催されました。当日は、地区内から392人という多くの子ども会会員や育成者・指導者が参加し、盛大に開催されました。子ども会大会では、地区子ども会表彰や各市の代表の子ども会活動発表がありました。その後、子どもたちは体験活動を、育成者・指導者は講演を聴きました。子どもたちの体験活動では、漁業の盛んな笠沙らしい体験(ロープワーク)などのコーナーもあり、子どもたちは楽しそうに活動に参加していました。

一方、育成者・指導者の研修会では、MBC ウェザーキャスターの前田一郎氏に、「野外活動のための天気予報」と題して講演していただき、子ども会活動を安全に実施するための気象について学習を深めました。



## 南薩地区PTA役員研修会

7月1日(水)南さつま市民会館において、南薩地区PTA役員研修会が開催されました。

研修Ⅰでは、MBCラジオ「私たちの作文」選評者として活躍中の丸山屋敏先生をお招きし、「教育は家庭の教で芽を出し」と題して御講演いただきました。地区で取り組んでいる「読書活動を通じた家庭教育」に多くの示唆をいただきました。

後半の研修Ⅲでは、小・中・県立学校の学校種毎に30グループに分かれて「家庭教育の充実とPTAの役割」というテーマで情報交換を行いました。

参加者からは、「講演で学んだこと、他校の取組などを学校に持ち帰り実践したい」などの感想が寄せられました。

10月21日(水)には、母親研修会も予定しています。「子育てにおける声かけ」についての講演を予定しています。お楽しみに！

## 地区人権教育授業実践研修会

6月26日(金)指宿市時遊館 COCCO はしむれにおいて、地区人権教育授業実践研修会を開催しました。

はじめに、「なくそう差別築こう明るい社会」を基にした講義や参加型学習の体験を通して、人権教育を推進していくための留意点を確認しました。次に、県人権同和教育課担当指導主事による中学校2年社会科「さまざまな身分とくらし」の模擬授業が行われ、正しい認識に基づいた授業の展開について研修を深めることができました。午後からの研究協議では、各学校の人権教育の推進状況について協議を行い、校種間で連携を図り研修を推進していく必要があるなどの意見が出されました。最後に、株式会社 G・S 取締役山口武文様から講演をいただきました。参加者から「差別は人の心を破壊する」という言葉を心に留めておきたいなど、多くのことを学ぶことができたとの感想が寄せられました。来年度は枕崎市で開催します。